

KIKUCHI PROJECTION SCREEN

スプリングローラー型スクリーン（KSL-X）
（ボックス一体型仕様） KSL-150・170/KSL-120HD・150HD
取り扱い設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

安全上 ご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



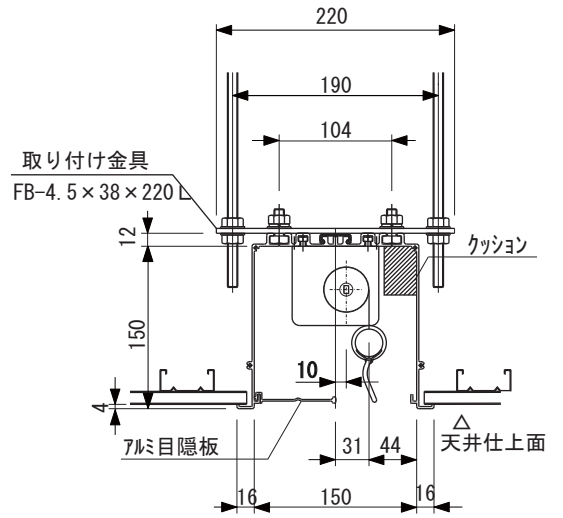
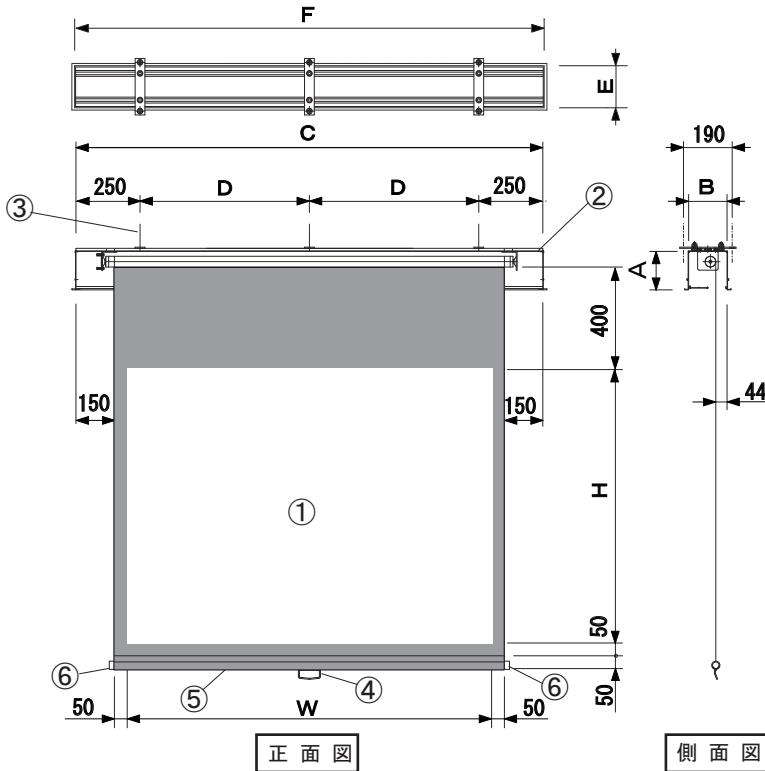
このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

各部の名称と寸法



各 部 名 称

①	スクリーン	④	引き下げ金具
②	スクリーンボックス	⑤	下部パイプ
③	取り付け金具(スライド可能)	⑥	パイプキャップ

スクリーン規格一覧表

[NTSCタイプ 4 : 3 ビーズ(G)/150PROG(PG)/ホワイトマット(W)]

型番			スクリーンサイズ		スクリーンボックス内寸			取り付け穴ピッチ	重量 (Kg)	天井開口寸法	
ビーズ		ホワイトマット	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	D(mm)		E(mm)	F(mm)
G	PG										
KSL-150GX	KSL-150PGX	KSL-150WX	3048	2286	150	150	3448	1474	33.8	164	3458
KSL-170GX	KSL-170PGX	KSL-170WX	3454	2591	150	150	3854	1677	41.6	164	3864

※取付穴ピッチは推奨の位置です。任意で移動することができます。

[HDタイプ 16 : 9 ビーズ(G)/150PROG(PG)/ホワイトマット(W)]

型番			スクリーンサイズ		スクリーンボックス内寸			取り付け穴ピッチ	重量 (Kg)	天井開口寸法	
ビーズ		ホワイトマット	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	D(mm)		E(mm)	F(mm)
G	PG										
KSL-120HDGX	KSL-120HDPGX	KSR-120HDW	2656	1494	150	150	3056	1278	30.0	164	3066
KSL-150HDGX	KSL-150HDPGX	KSR-150HDW	3320	1868	150	150	3720	1610	38.0	164	3730

付属品

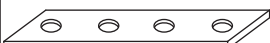
下記の設置用部品が付属しています。



警告

下記設置部品以外での取り付けはおやめください。取り付け等の不備による脱落の恐れがあります。

取り付け金具・・・3枚



固定用平ワッシャー・・・6枚



固定用スプリングワッシャー・・・6枚



固定用3/8"ナット・・・6個



固定用平ワッシャー・・・6枚



固定用スプリングワッシャー・・・6枚



固定用3/8"ナット・・・12個



固定用3/8"×25mmボルト・・・6個




ボックス吊り下げ用
3/8"×1000mmボルト・・・6本





引き下げ棒

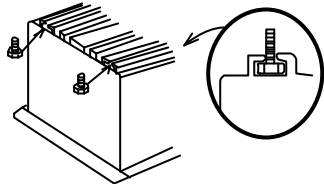


スクリーン取り付け方法

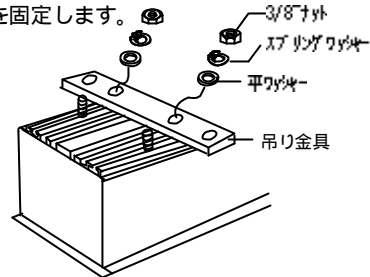
 警告	スクリーンを設置する壁や天井が石膏ボードや、パーティクルボードなどの場合は、少なくとも200Kgの重量を支えられる下地が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。 スクリーン本体の脱落の恐れがある為、下地補強がされていない取り付け面へのタッピングビスによる設置工事はお止めください。
---	---

 注意	 禁止	天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。 ・ボードアンカーのみによる施工 ・ALCアンカーによる吊り下げ ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工
---	---	---

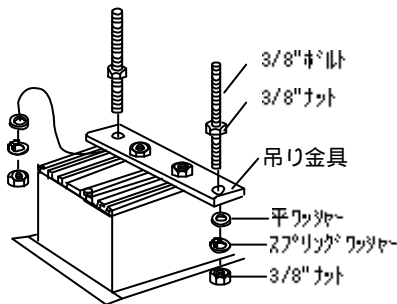
① 天井部のスリットに3/8"ボルトを6本差し込みます。



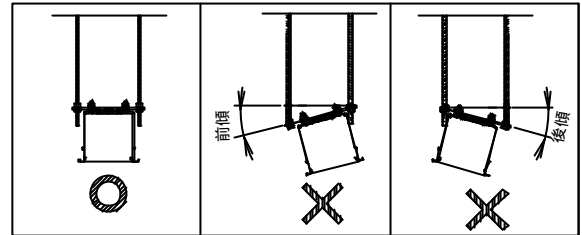
② 3/8"ボルトを左図面の吊りボルトの取り付けピッチに合わせ、吊り金具を固定します。



③ あらかじめ吊り下げ用に打ち込まれたアンカーへ3/8" x 1000mmボルトを取り付けし、吊り金具へ差し込み固定します。



④ ボックスが水平になる様にレベルをだしながら調整してください。

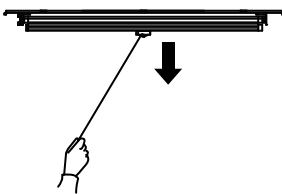


吊り下げ用のアンカーは、3/8インチL=40mm(日本ヒルティ HKD-S3/8W×40) と同等の性能を有するものを6本お客様の方でご用意ください。

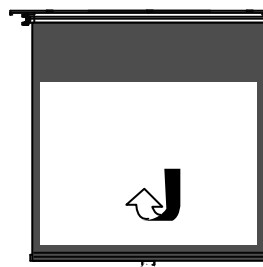
スクリーンの使い方

引き出すとき

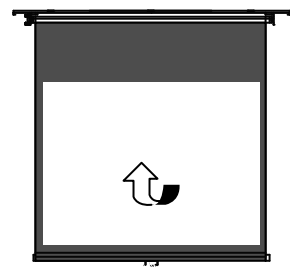
① スクリーンを引き下げる時は、付属のフック棒を使用してください。



② スクリーン面を希望の位置まで引き下げ、手を添えたまま軽く上に戻すようにしてください。ストッパーが作動し停止します。

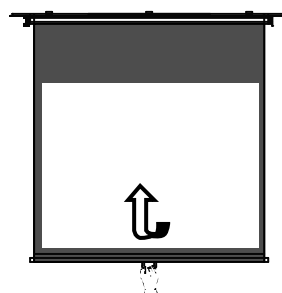




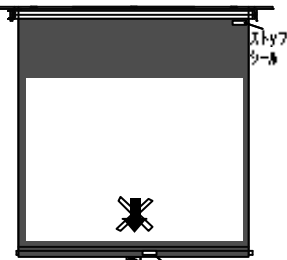



③ スクリーンをさらにさげる時は、一度収納時の動作(ストッパーを解除)をしてからさげてください。



収納するとき

① 収納するときは、スクリーン下部のフックを持って下へ少し引くと、固くなりそれ以上引けなくなりますので、その位置で手を離すと収納されます。



 注意	 スクリーンの引き下げ限度を越えて無理に引き下げないでください。(ストッパーが限界です。)限度を越えて無理に引っ張りますと、スクリーン生地が芯のアルミローラーよりはがれて落下することがあります。	 ストップバー 操作シール
	 収納位置以外の停止位置から引き下げるときは、スクリーン下部のフックを持って下へ少し引くと、固くなりそれ以上引けなくなりますので、その位置より少し上にもどしてから下げてください。ストッパーがかかった状態で無理に引き下げると、故障や事故の原因になりますのでご注意ください。	
	 スクリーン生地の下端部にパイプが巻き込まれていますので、ぶつからないようにご注意ください。	
	 スクリーン面をきれいに保つため、ご使用のあとは必ずスクリーンをプロテクターケース内に巻き返してください。その際虫等が付着していない事を必ず確認してください。	

注意

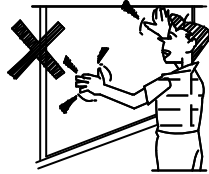
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

スクリーン面に手をふれないでください。



禁止



ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



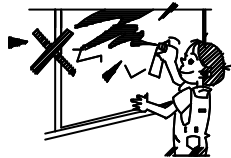
分解禁止



スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



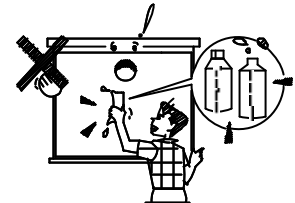
禁止



水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



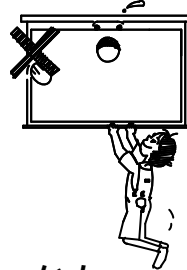
禁止



ケースやスクリーンにぶらさがったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となります。



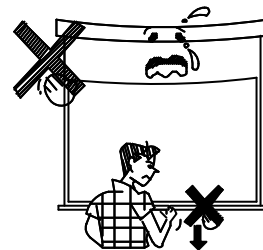
警告



スクリーンを無理に引き上げないでください。本体または、スクリーンが脱落する恐れがあります。

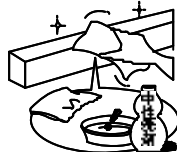


禁止

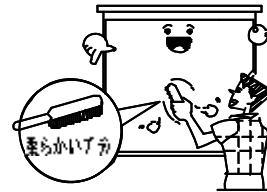


お手入れのしかた

ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



置き場所・保管についてのご注意

直射日光の当たる場所、ホコリや湿気が多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。

KIKUCHI SCIENCE LAB 2005. 11. KSL-X.M. RW

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY, INC.

株式会社 キクチ科学研究所

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35

TEL. (03) 3952-5131 (代) FAX. (03) 3953-0051